645-01　　(1 / 1)

放射線管理記録

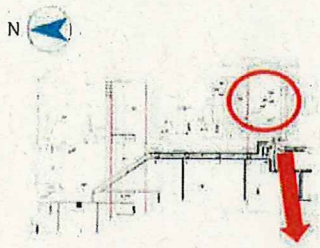
現場代理人	放管グループ長	放管責任者	合議	作成者

作業件名	1F 日本海溝津波対策防潮堤設置工事(1-4号機側)	測定項目	□ γ □ β+γ ■ スミア □ ダスト □ α □ 直接法 □ ろ布
測定場所	2.5m盤 日本海溝防潮堤設置エリア	測定者	
作業内容(作業目的)	区域区分解除(Yzone→Gzone)(上記に伴う環境測定)	測定器	F1-GMAD-239(TGS-146B)
測定日時	2022 年 2 月 1 日 9 時 00 分 ～	防護装備	不織布カバーオール+全面マスク+布手袋+ゴム手(2重)+靴下(2重)
区域区分	□ G zone ■ Y zone □ Yβ zone □ R zone □ W zone □ 管理区域 □ 管理区域	測定結果に基づく放射線防護措置	・特になし

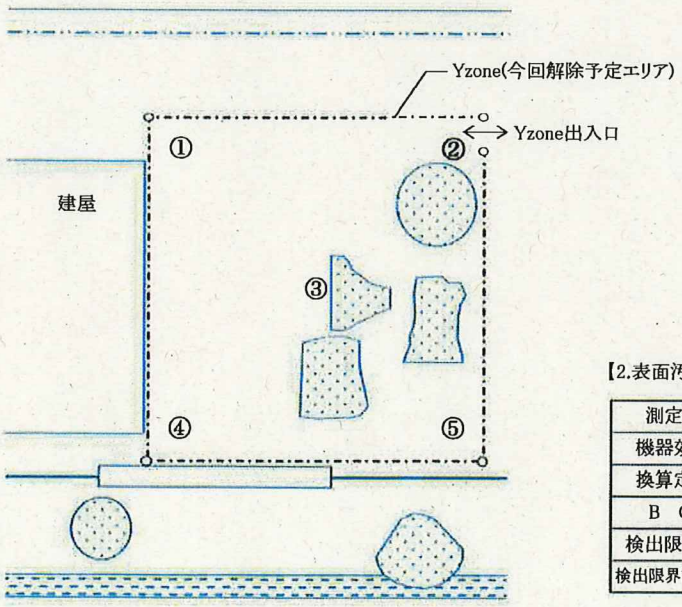
測定種別	空間線量当量率		表面線量当量率		表面汚染		ダスト		Yzone
	γ	β+γ	γ	β+γ	α	β	α※	β	幾何平均値
最大値	—	—	—	—	—	5.61E+00	—	—	310
単位	—	—	—	—	—	Bq/cm²	—	—	cpm

×:空間線量当量率(mSv/h)　‥地上から約 1.2 m　■:表面線量当量率(mSv/h)　▲:空気中放射性物質採取箇所　№:スミア採取ポイント

*天然核種とわかってる場合は、記載は不要。Yzoneに係わる測定記録に対し幾何平均を記載。



【1.スミア採取ポイント】



【2.表面汚染密度測定結果】

測定器	F1-GMAD-239		
機器効率	29.7	%/2π	<スミアろ紙・時定数>
換算定数	1.40E-02	Bq/cm²・min⁻¹	スミア採取面積(100cm²)
B G	200	cpm	スミア採取効率(10%)
検出限界値	1.39E+00	Bq/cm²	BG測定時定数:30秒
検出限界計数率	99.4	cpm	試料測定時定数:10秒

スミア採取ポイント		(cpm) Gross	(cpm) Net	(Bq/cm²) 汚染密度
①	地表面	400	200	2.81E+00
②	〃	200	0	LTD
③	〃	300	100	1.40E+00
④	〃	600	400	5.61E+00
⑤	〃	200	0	LTD

Yzone幾何平均　310　cpm